

平成 25 年 8 月 6 日
一般社団法人 日本原子力学会
再処理・リサイクル部会

核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究 WG の設置について

1. 目的

我が国では、福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえて、原子力発電施設だけでなく、核燃料サイクル施設についても重大事故のリスクを検討し、これに基づいて安全確保のあり方を見直し、一層の安全性向上について検討することが、喫緊の課題となっている。

日本原子力学会再処理・リサイクル部会は、再処理施設等の建設、運転、安全評価、研究開発、人材育成等に係わる多様な組織の研究者、技術者により構成される部会である。この特性を活かして、部会員が有する最新の知見及び専門的経験に基づいて、科学技術的観点から上記課題を検討し、科学合理性の高い安全確保及び安全規制並びに社会への説明責任の達成に資するよう、その成果を社会に発信することは、当部会の使命と認識する。

具体的には、核燃料サイクル施設における内的及び外的事象に起因する重大事故を科学的・技術的観点から選定する方法について提案する。この選定方法の有効性を確認するために、核燃料サイクル施設（主に、再処理施設）において影響が大きいと考えられる事象を検討するとともに、今後の課題を抽出する。また、現在進められている原子力発電所の類似の検討結果と比較しつつ、サイクル施設に特徴的な課題と違いについて整理する。

以上の目的を達成するため、本WGを設置する。

2. 運営

再処理・リサイクル部会が主催し、原子力安全部会の協力を得て運営する。当面 1 年間の開催とし、成果を見て次年度の検討を行う。

3. 委員

主査：池田泰久（東工大）

副主査：村松 健（東京都市大）

幹事：浅沼徳子（東海大）、阿部 仁（JAEA）、深澤哲生（日立 GE）

委員：青柳春樹（JNFL）、井上 正（部会長、電中研）、大濱稔浩（関電）、

佐藤修彰（東北大）、澤田佳代（名大）、清水武範（JAEA）、

竹内 努（東芝）、玉置等史（JAEA）、塚田毅志（電中研）、

中島 健（京大）、林 昭宏（電事連）、平野光将（JNES）、眞部文聡（MHI）、

森岡信男（MMC）